

# Open Campus 2023

International Studies Course,  
Faculty of Humanities and Social Sciences,  
Kochi University

高知大学人文社会科学部 国際社会コース

## 模擬授業

それぞれ同じ内容を2回。好きな時間でどうぞ。

Communicating Across Cultures: An Introduction to Nonverbal Communication (Darren Lingley)

325 番教室 ① 10:00-10:30 ② 13:10-13:40



Nonverbal communication includes everything except the spoken word. In fact, most human communication is expressed through nonverbal communication – some say between 65-90% of all face-to-face communication is expressed nonverbally! Therefore, it is especially important for successful intercultural communication to understand both verbal and nonverbal messages. Since our culture greatly influences our nonverbal communication, it is important to understand that the messages we are sending can be interpreted differently by people from other cultures. In fact, most people don't realize the importance of nonverbal communication until they start to communicate in intercultural settings. When thinking about nonverbal communication most people emphasize gestures, but it is much more than that. In this lesson, we will consider the features, functions and categories of nonverbal communication with the aim of reducing miscommunication and improving intercultural communication.



ネットワークと社会 (遠山 茂樹)

324 番教室 ① 10:50-11:20 ② 11:40-12:10



社会は人と人の「つながり」で作られています。人間社会は「六次の隔たり」という特徴があるとされていて、何億もの人口があろうとも、平均5人を仲介すれば6人目で誰とでもつながることができるという。その社会の中でも、人びとのつながりの規模や構造によって、集団の特性も異なり、個人もネットワーク上のどこに位置するかによって、与える影響力や受ける利益などが変わってきます。社会ネットワーク論は、人びとのつながり方がもたらす思いがけない影響について研究しています。ミニ講義では、人びとのつながり方の不思議さについて考えていきます。



日本のオバケ、中国のオバケ (高橋 俊)

325 番教室 ① 10:50-11:20 ② 11:40-12:10



比較文化という研究テーマは、同じ（と思われている）モノが国や地域でいかに違うのかを調べるものです。私はそれを「オバケ」で行っています。オバケあるいは幽霊といわれて思い浮かべるものは、各地域ごとに驚くほど異なっていますし、その「生態」にも大きな違いがあります。今回の授業では、日本と中国との比較を中心に、オバケの違いを見ていきます。その際、題材として使うのはホラー映画です。ホラー映画には、国によって定番のストーリーがあります。そのストーリーを読み解くことで、各文化でオバケがどのようなイメージを持たされているかがわかるのです。



# とにかくちょっと声をかけてみよう！ きっと得られるものがあるはずです。

国際社会コースでは、高校生みなさんが、大学生の先輩や教員といろいろな話ができる場を用意しました。旅行会社や航空会社、あるいは海外に拠点のある企業などから内定をもらい、卒業後の国際的な活躍を楽しみにしている学生、留学をはじめ海外で様々な体験を得てきた学生、日本語教員を目指している学生、地域の問題に取り組む学生など、多彩な学生がみなさんを待っています。もちろん、学生生活の全般的なことやバイト、部活のことなどにもお答えします。「相談コーナー」、「ポスターセッション」そして休憩時間、せっかくだから少し勇気をもって先輩たちに話しかけてみましょう。何を尋ねればいいのかわからなくても大丈夫、とにかく話しかけてみましょう。きっと何かが得られるはずです。

## ▶ コース紹介

221 番教室 ① 10:00-10:30 ② 11:40- 12:10

どのようなことが学べるの？ どういう風に学べるの？ ゼミってどんなもの？ そして卒業後の進路は？  
ここでは国際社会コースの特色やカリキュラム、さらに入試について簡単に紹介します。もっときいてみたい人は、「相談コーナー」や午後の「ポスターセッション」で教員や学生に話しかけてみましょう。



## ▶ 相談コーナー

310 番教室 12:00-13:40

入試、勉強、留学、教員免許、就職、サークル活動、一人暮らし、バイト、就職・進学など、教員や学生が答えられる限り答えます。何を質問すればいいのか具体的に決まっていなくても大丈夫。気軽に足を運んでください。

## ▶ 学生の毎日 —— 在学生によるプレゼンテーション

221 番教室 13:10-13:40

2年生と4年生の学生が、学生生活全般について話をします。授業のこと、サークルのこと、食事のこと、バイトのこと、就職のこと……。もっと聞いてみたいことがあれば、このあとの「ポスターセッション」で、ぜひ尋ねてみてください。このほか、海外で日本語教師のアシスタントをしてきた学生も話をします。

## ▶ 先輩の話をきいてみよう —— ポスターセッション

221 番教室 14:00-15:00

国際社会コースでは、みなさんの学びをより専門的に、より深化させるために様々な授業や学びの仕組みを用意しています。ここではコースの学生が、その中のいくつかについて「ポスターセッション」という形で紹介します。話の内容をまとめた大きなポスターを前に担当の学生が待っています。とにかく、気になるテーマがあればそこをのぞいて、先輩達とどんどん話をしてみましょう。また会場内には、ポスターセッション担当に加え、学生スタッフや教員も集まっています。どんなことでも聞きたいことがあれば、積極的に話しかけてみてください。またとない機会です。

ポスターセッションのテーマ：

「留学」、「日本語教員」、「Epic（英語の集中授業）」、「教員免許」、「フィールド・リサーチ」